

















# 3月 ピッコロだより



【3月の活動】～ インタビュー / 感謝の気持ち / 一年間を振り返る～

月	火	水	木	金	土
※中学生の活動について ・3/9(土)～一年間を振り返ろう この一年間を振り返り、思い出ランキング表を作ります。 ・3/23(土)～Thanks Cardを作ろう 感謝の気持ちを伝えたい相手に、サンクスカードを作成します。				1 記者になろう  (情報を集める)	2 記者になろう  (情報を集める)
4 記者になろう  (情報を集める)	5 記者になろう  (情報を集める)	6 記者になろう  (情報を集める)	7 記者になろう  (情報を集める)	8 ピッコロ新聞を作ろう  (記事を書く)	9 ピッコロ新聞を作ろう  (記事を書く)
11 ピッコロ新聞を作ろう  (記事を書く)	12 ピッコロ新聞を作ろう  (記事を書く)	13 ピッコロ新聞を作ろう  (記事を書く)	14 ピッコロ新聞を作ろう  (記事を書く)	15 ありがとうを伝えよう  (カードを書く)	16 ありがとうを伝えよう  (カードを書く)
18 ありがとうを伝えよう  (カードを書く)	19 ありがとうを伝えよう  (カードを書く)	20 休み 春分の日 	21 ありがとうを伝えよう  (カードを書く)	22 春をみつけよう  (お花見)	23 春をみつけよう  (お花見)
25 一年間を振り返ろう  (一年間の思い出)	26 一年間を振り返ろう  (一年間の思い出)	27 一年間を振り返ろう  (一年間の思い出)	28 一年間を振り返ろう  (一年間の思い出)	29 一年間を振り返ろう  (一年間の思い出)	30 一年間を振り返ろう  (一年間の思い出)

## (今月の主な活動)

### 《インタビュー》

・子ども同士でインタビューを行い、相手への関わりや適切な質問、受け答えができるよう練習します。

### 《ありがとうを伝える》

・友だちへありがとうカードを書き、お互いカードを交換します。カードを渡したり、もらったりすることで友だちや自分自身の良い所を知り、相手への感謝の気持ちや自己肯定感を高めることにつながります。

### 《思い出を振り返る》

・一年間を振り返り、できるようになったことやがんばったことを絵や文章で表現し相手に伝えます。また、成長した自分に気づくことで次のステップへ希望を持って進級する気持ちを高めます。

## ※専門職の来所予定日

公認心理師(松本): 2日(土)、5日(火)、13日(水)、29日(金)

言語聴覚士(永山): 1日(金)、7日(木)、8日(金)、11日(月)、21日(木)、22日(金)、27日(水)、28日(木)

理学療法士(樋口): 14日(木)、15日(金)、19日(火)、25日(月)、

作業療法士(大平): 6日(水)、12日(火)、18日(月)、23日(土)



## 笑顔の花を咲かせましょう

梅の花が、控えめに「もうすぐ春ですよ。」と告げてくれるようになりました。

今年は、年頭からさまざまな事があり被害を受けた方々の事を思うと胸が痛みますね。

今回は、私が最近よく考えるようになった「応答」についてお話させていただきます。「応答」ということばを調べると、「問いや話しかけに答える事・受け答え」という意味が出てきます。単純に「聞かれたことに答える」というイメージですよね。ただ、この「応答」ということばには、もっと深い意味がある気がしています。子育ての中で考えると、子どもが応じてほしいタイミングや内容と私たちの働きかけのタイミングや内容が一致している事が、子どもたちの満足度やその後の人とのかかわり方に大きな影響を与えるのではないかとこの事です。

大人のタイミングで、子どもとかかわりを持ったとしても、子どもは「今」それを望んではいないかもしれない。子どもが「今」かかわって欲しいと思っても、大人は忙しい時間であったり、気分が乗らなかつたりしてかかわれない。または、子どもが望んでいるかかわりとは別のかかわりをしてしまう。このようなずれが、何回も続いていくと、子どもは「もういいや」「どうせむりだよ」と「本当にしてほしいこと」をあきらめてしまうのではないのでしょうか。

例えば、怖い夢をみてお昼寝から起きた子どもが不安になった時に、子どもは「抱っこをして、大丈夫よ」と応えてほしい。でも、大人は忙しくて抱っこできなかつたり、子どもの好きな事を提案したりすれば泣き止むのではないかと、泣いている子どもに「好きなビデオつけてあげるから泣かないのよ」と応答する。とりえず、子どもは泣きやむかもしれませんが、でも、子どもの気持ちは満たされるでしょうか。

このような「少しずれた対応」を私も三人の子育ての中でたくさんしてきたのだなあと思いつつ最近思い返すことがしばしばあります。そして、もっと子どもたちの気持ちを理解するよう努めれば良かった、いろいろな事を後回しにしてでも子どもの「今してほしい思い」に応えていたら良かったのではないかととも思います。



現在、子育て真っ最中のご家族のみな様、子どもが泣いているとき、不安そうにしているとき、元気がないとき、何かを訴えかけているときこそ「応えてあげる」べきときなのかもしれません。子どもたちが「安心」して毎日楽しくわくわく生活するために、「応答」について考えてみてはいかがでしょうか。今より、もっとこどもの笑顔が増え、良い関係が築けること間違いなしです！すべての子どもたちの笑顔が輝けるよう、私たちもご家族と同じ想いでお子さまたちとのかかわりを深めていきたいと思えます。

今年度もご理解とご協力に感謝いたします。



児童通所部門 園長 水流かおる(公認心理師・社会福祉士)



児童発達支援センター歩路だより

「子どもへ“さまざまな価値観”を伝えましょう！」

子どもたちは「一番がよかった」「〇〇くんより早かった」など、順番や早さにこだわることはありませんか？もちろん、一番や早くできたことはうれしいと思いますが、一番になれない時は落胆する気持ちもあるかと思えます。子どもの気持ちを受容しながら、日頃から、以下のポイントを意識してことばの掛け方を工夫しながら、子どもたちとのやりとりを楽しみましょう。

○「一番」や「早い」以外にもさまざまな価値観があることを伝えましょう。

(「きれいにできた」「丁寧にできた」など。)

※「一番」や「早い」こと自体が悪いことではありません。順番を競うことで意欲に繋がることもあります。

さまざまな価値観を知っておくことが大切です。

○無意識に大人が「一番」や「早さ」を求めていることを意識しましょう。

(「早く準備して」「一番だったのすごいね」ではなく、

「〇分までに準備してくれたら助かる」「最後まで頑張ったね、すごいね」など。)

### ★お知らせとお願い★

・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。

・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前)10 時 20 分まで、(午後)13 時 50 分までにお願いします。

・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日(午前)11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後)15 時 20 分～15 時 40 分の間にお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【欠席連絡について】

・平日は 16 時以降、土曜日(午前)当日 9 時 30 分以降、(午後)13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)を

ご負担頂きますので、ご了承ください。また、当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡下さい。

